



HIRO HLDGS Co., LTD

株式会社ヒロホールディングス  
代表取締役 向山 孝弘氏

## TOKYO PRO Market へ上場

モバイルキャリアショップを中心にはさまざまな事業を展開する株式会社ヒロホールディングス(香芝市瓦口・向山孝弘代表取締役)は「TOKYO PRO Market」に上場した。「今現在一番力を入れているのがZeta事業」と話す向山社長は、デジタル映像を使った施設の空間演出や、仮想現実で実写を取り込んだ3D空間構築など最先端の技術開発に取り組む。地方創生への思いや上場などについて向山社長に聞いた。

「まずは会社についてお聞かせください。」

もともとは、輸入や国内メーカーから購入して、全国の観光施設やテーマパーク、ホテルに商品を卸すといった貿易会社として平成2(1990)年にスター

トしました。そうする中で通話サービスの代理店をやつてほしいという話があり、そこからキャリアショップ事業のスタートへとつながっていきました。

「革製品ブランドも展開されていますね。」

日本は、人件費を抑え、安い商品を販売するため国内生産が海外へと移ってしまったという過去がありま

った。日本でも安い革製品を日本で作ろうとしても、大量に作る安い商品というのに

は太刀打ちできません。

日本の製品を100年先まで残したいという思いを込めて、リボナリーという事業を平成26(2014)年に立ち上げさせていただきました。今では長く使ってもらえる財布をメインに、システム手帳のカバー、ふで箱といった小物類を色々な職人さんと契約して作っています。

「他にはどのような事業をされているのですか。」

あとは大阪府で貸し会議

# DX活用して地方創生へ

## 現実とデジタル融合、さまざまな空間作り



1 サイネージを利用し、まるで外の景色が映し出されているかのような空間を演出することも  
2 対話側AIを使った健康診断  
3 3Dによる立体空間を構築  
4 デジタル映像を使って定元に鯉を泳がせることも

\*ヒロホールディングス商品パンフレットから(画像は全てイメージ)

室をやっています。そして、もう一つが今一番力を入れているZeta事業です。

これはAIやIoTの開発で、フリーハンドで作れるものになりますので、そのサービスから作っていく空間演出を中心にならせていただいています。

ないといけません。

実際、上場した後に全国から色々な問い合わせや見積りの依頼が届いています。

そういう意味で販売に対する信用の裏付けというのがすごく大きかったのかと感じています。

「上場に期待されていたことは。」

上場することでの大きな点は2つだと思っていました。1つは事業継承において、会社を能力のある人にバトンタッチしていくために経営者保証の問題が解消されること。もう1つは県外に働きしていくことが多い奈良で良い人材を確保すること。他の企業と何が違うかを明確にできています。

「上場した際に、「DXを用いた地方創生に取り組んでいきたい」とお話しされましたね。」

やはり私たちが地方で上場した意味というのは、地域のDXによる地域創生だと思います。

「上場した際に、「DXを用いた地方創生に取り組んでいきたい」とお話しされましたね。」

「今まで出張していたものがZoomなどでできる時代になりました。別に東京へ行かなくても地域で十分働ける環境ができる。そ

ういった「DXを使えばできるよね」というのを私たち

がZetaだつた人が実際に目の前に

お見えにならぬもので

す。

今まで出張していたものがZoomなどでできる時代になりました。別に東京へ行かなくても地域で十分働ける環境ができる。そ

ういった「DXを使えばできるよね」というのを私たち

がZetaだつた人が実際に目の前に

お見えにならぬもので

す。

今まで出張していたものがZoomなどでできる時代になりました。別に東京へ行かなくても地域で十分働ける環境ができる。そ

ういった「DXを使えばできるよね」というのを私たち

がZetaだつた人が実際に目の前に

お見えにならぬもので

す。

今まで出張していたものがZoomなどでできる時代になりました。別に東京へ行かなくても地域で十分働ける環境ができる。そ

ういった「DXを使えばできるよね」というのを私たち

がZetaだつた人が実際に目の前に

お見えにならぬもので

す。

現在では、マイクロツーリズムとして国内の人々に来てもらいたいとなると、そこに何か付加価値をつける必要があります。客単価のアップが必要になっています。

しかし今までと同じ建物、設備でやってるとなかなか単価アップは難しいものであります。そこで例えば窓のないところに窓を作る、床に鯉を泳がせることをプロジェクトとして取り組んでいます。

また、さまざまな事業を開拓し商品を販売する中で信用・信頼を得ることができます。代理店でやってる分には、上場する必要ない

2つ目は、宿泊施設などになりますが、これまでアジアから大量に来られています。そこで薄利多売で、とにかく回転させることに重きを置いていました。しかし

奈良の歴史的なものといふものをデジタルアーカイブとして残していくことがあります。いわゆるメタバースというものです。

その人が実際に目の前にいるかのように会話をできるシステムがあります。これは、事前に数パターンの会話を撮影して、それを聞かれた内容をAIが判断して話をするといったものになります。

またVRを使った実写の3D施設サービスなども提供しています。ご依頼いただいた施設などを撮影して3D空間を作り、VRを使い可能ですが、特定の場所に動画の埋め込み、またそこで

「他にはどのような技術を使ったサービスを提供されているのですか。」

「奈良の企業として今後していきたいことは、奈良の歴史的なものといふものをデジタルアーカイブとして残していくことがあります。いわゆるメタバースというものです。

奈良の歴史的なものといふものをデジタルアーカイブとして残していくことがあります。いわゆるメタバースというものです。

そこで再建するとなつたときにも活用できます。色々な企業さんと組んで皆さんと一緒に奈良を活性化することに取り組んでいきたいです。

「ありがとうございます。」